



リモートワークが進む中、  
オフィスの必要性って？

## プラスが行ったアンケート調査の概要

### 調査時期 / 方法

2020年4月21日～28日 / webアンケート

### 調査対象

2020年4月以降、新型コロナウイルスの防疫対策等で主にリモートワークを行っている方 計367名

- ・うち、プラスのメルマガ会員様 234名
- ・うち、プラスファニチャーカンパニーの社員 133名

### 調査内容

- ・リモートワークで行いやすい業務（選択回答）、その理由（自由記述）
- ・オフィスで行いたい業務（選択回答）、その理由（自由記述）
- ・リモートワークを行う中で、便利 / 不便に感じたエピソード（自由記述）

在宅勤務をはじめとした  
リモートワークの経験と調査をもとに、  
オフィスの必要性について考えてみます。



## アンケート結果

### リモートワーク・オフィスに適した業務とは？（上位抜粋）

#### リモートワークで行いやすい業務

1位：PCで作業・書類を作成する

2位：メールを返信する

3位：考えをまとめる

自己完結型の作業は、  
リモートワークで対応できるようです。



#### オフィスで行いたい業務

1位：ちょっとした相談・報告をする

2位：打ち合わせをする

3位：認識を合わせる/了解を得る

チームでのコミュニケーションは、  
オフィスで行う方が良いでしょう。



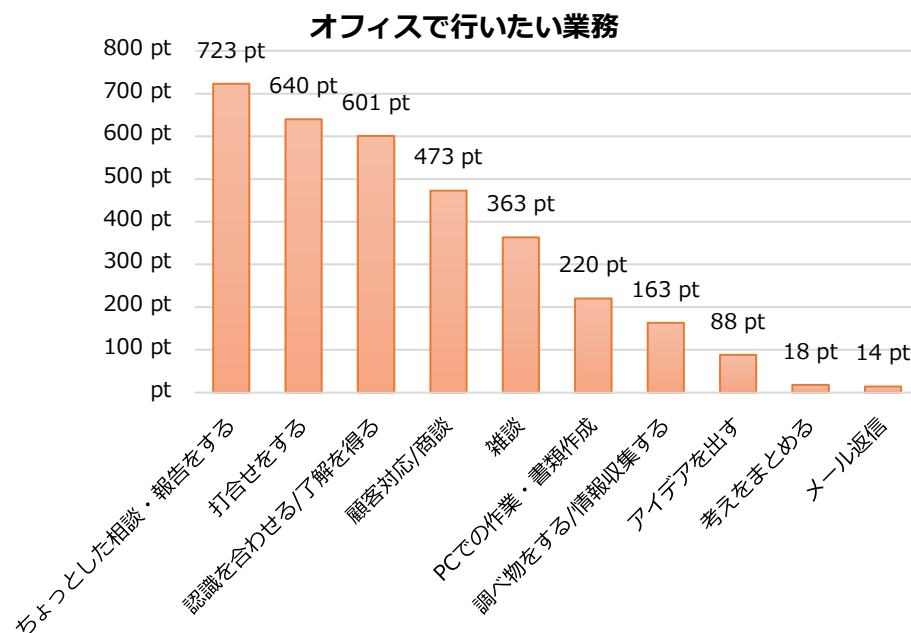
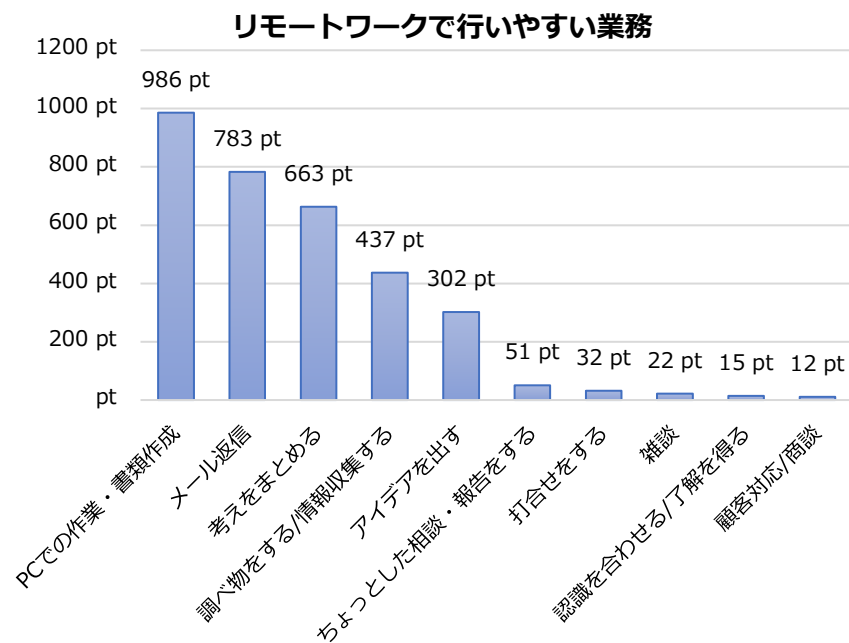
## アンケート結果 グラフ

### リモートワーク・オフィスに適した業務とは？（全体結果）

「リモートワークで行いやすい業務」「オフィスで行いたい業務」の1位～3位を選択して頂き、1位=5pt、2位=3pt、3位=1ptで集計した総合順位とポイント数を記載しています。

総合順位	リモートワークで行いやすい業務	ポイント数
1位	PCで作業・書類作成をする	986 pt
2位	メールを返信する	783 pt
3位	考えをまとめる	663 pt
4位	調べ物をする/情報収集する	437 pt
5位	アイデアを出す	302 pt
6位	ちょっとした相談・報告をする	51 pt
7位	打合せをする	32 pt
8位	雑談をする	22 pt
9位	認識を合わせる/了解を得る	15 pt
10位	顧客対応をする/商談をする	12 pt

総合順位	オフィスで行いたい業務	ポイント数
1位	ちょっとした相談・報告をする	723 pt
2位	打合せをする	640 pt
3位	認識を合わせる/了解を得る	601 pt
4位	顧客対応をする/商談をする	473 pt
5位	雑談をする	363 pt
6位	PCで作業・書類作成をする	220 pt
7位	調べ物をする/情報収集する	163 pt
8位	アイデアを出す	88 pt
9位	考えをまとめる	18 pt
10位	メールを返信する	14 pt



## アンケート結果

### リモートワークをして便利 / 不便だったこと

※多く挙げられた内容を抜粋

#### リモートワークの便利な点

- ・通勤にかかっていた時間を情報収集や家族団らんに充てられる。
- ・話しかけられて中断したり誰かの目を気にすることなく、自分の仕事に集中できる。

逆にオフィスで仕事をする場合には  
通勤時間・集中環境に不便を感じていたと  
わかります。

#### リモートワークの不便な点

- ・相手の様子がわからないため、気軽に相談できず一人で抱え込みやすい。
- ・ブレストなど双方向で発言し合うミーティングは、web会議だと発言のタイミングを掴めずやりづらい。
- ・通信環境が悪くネットが途切れたり、資料の印刷やスキャンをできない。
- ・自宅には仕事に適した家具等がないため体に負担がかかる。

相手の様子をリアルに感じ取れなかったり  
リモート環境が仕事に適さない場合に  
不便を感じるようです。

## オフィスの必要性①

ミーティングは、Webとリアルな対面の使い分けが必要です

全員ノートPCを持っているし、webミーティングのツールを活用すればミーティングもリモートで問題なくできるのに、オフィスに集まる必要はあるのでしょうか？



### <リモートワークの経験と調査による見解>

- ・webミーティングは、特定のプレゼンターが話す場合や、チームの進捗共有や定例会議など順番にひとりずつ話す形式の打ち合わせには向いていて、問題なく会議を進められるようです。
- ・一方でモニター越しでは間合いを読みづらく、発言を控えたり同時に話し始めて譲り合ったりしがちなので、**ブレストや活発な意見交換にはやりづらさを感じる人が多い**ことがわかりました。
- ・表情や空気感を読み取り合えず、**対面でないと細かなニュアンスを伝えづらい**との声も多く挙がりました。



ミーティング内容に応じて、webとリアルな対面の使い分けが必要です。  
活発な意見交換やメンタルケアも含めた面談などは対面で行えるよう、  
それらに適したミーティングスペースをオフィス内に設けましょう。

## オフィスの必要性②

気配を感じられる距離感で仕事をすることが、チームの連携を高めます

社内ではチャットを活用した会話のような気軽なやり取りも増えているので、オフィスに行かなくてもチームで連携できるのではないのでしょうか？



### <リモートワークの経験と調査による見解>

- ・チャットや電話などの連絡手段があっても、「ちょっとした相談をしづらい」との声が多く挙がりました。**相手の様子を伺えないと相談を持ち掛けることを遠慮してしまい、一人で抱え込んでしまいがち**のようです。その状態は**進捗の遅れや、モチベーションの低下にも繋がってしまう**と考えられます。
- ・また**リモートワークでは文面に頼りがちになる**ため、話せば短時間で解決できることでも**効率が悪かったり微妙なニュアンスを表現できず齟齬が生じやすい**ことも問題視されています。



**必要最低限の連絡や共有はリモートワークでも可能ですが、チームの士気や機動力を高めるコミュニケーションを増やすためには、気配を感じられる距離感で仕事をする場や時間を意識的に作る必要があります。**

### オフィスの必要性③

## オフィスにプリンター&備品スペースや集中環境を整える必要があります

むやみに話しかけられたり周りの状況に巻き込まれづらいので、  
オフィスよりも家にいる方が仕事はかどるのではないのでしょうか？



### <リモートワークの経験と調査による見解>

- ・リモートワークで行いやすい業務として、「考えをまとめる」が上位に挙がっています。  
その理由として、オフィスのように話しかけられて中断されることもなく、人の目を気にしなくて済むとのコメントが見られ、**家の方が集中できる人が多い**ようです。  
これは裏を返せば、**多くの方がオフィスで集中できないと感じている**とも考えられます。
- ・その一方で**リモート環境次第では、プリンターや通信環境が整っていないことでスムーズに進まなかったり家族の生活音が気になったりなど、集中して取り組めない人も**いることがわかりました。



**必ずしも家で集中できる環境が整っている人ばかりではありません。**  
**オフィスの中に皆が利用できるスペースとして、プリンター&備品のスペース、**  
**周囲の視線や音を遮る集中ブースを設けるのがオススメです。**



## オフィスの必要性④

### 【番外編】幅広い職種でリモートワークを導入するコツ

リモートワークをできる職種は、  
限られているのではないのでしょうか？



本ページは2017年に実施したテレワークトライアルを基に作成。  
(2020年4月のアンケート結果を受けた内容ではありません。)  
詳細は以下URLより「オキタ社長のイゴコチメイキング2」を  
ダウンロードしてご覧ください。  
<https://kagu.plus.co.jp/ebook/okita2/>



#### <リモートワークの経験と調査による見解>

- ・ プラスファニチャーカンパニーでは管理部門・営業部門・システム部門・クリエイティブ部門・企画部門・経営層といった幅広い職種を対象に、週1回程度のリモートワークを1ヶ月間トライアルした経験があります。
- ・ 職種によって、リモートワークを取り入れたい頻度や注意が必要なポイントには違いがあったものの、**いずれの職種においても、オフィスでの事前準備やチームメンバーとオフィスで協業する予定の調整など、オフィスとリモートワークで行うことの計画的なすみ分けが、効果的なリモートワークの鍵となりました。**



**職種によって最適なリモートワークの取り入れ方は異なりますが、どの職種でもオフィスとの使い分けを意識して考え行動する計画性がリモートワークを導入する鍵となります。**